ぽけっと

2019年1月号　NO. 265
1月1日発行

今月のトピックス

企画展示　『能・狂言面展』

日時：12月5日（水）～1月20日（日）【前期】
　　1月21日（月）～ 2月25日（月）【後期】
場所：図書館入口展示コーナー

先月に引き続いて神島田面打会の協力のもと、お祭りで使われるものや狂言の面を展示し併せて面の作成行程や道具も紹介します。能の面は天王祭の朝祭りでも使われる重要なもの。面の魅力や能・狂言の世界をご堪能ください。

※ 前期・後期で展示されている面の全面入れ替えを行ないます。

地域の歴史に親しむ講座「旅日記から見た津島廻りについて」

日時：1月19日（土）午後2時～ ／ 場所：図書館2階 大集会室 ／ 講師：石田泰弘氏

江戸時代の津島は、東国から訪れる伊勢参りの参詣者でとても賑わっていました。こうした状況は東日本各地に残されている旅日記に描かれており、当時の津島など佐屋路の様子を知ることができます。講座では現存する数多くの旅日記から、さまざまな内容を紹介します。

年末年始休み

12月29日（土）から1月3日（木）まで、休館します。
返却は、本館返却ポスト、もしくは津島駅構内の返却ポストまでお願いいたします。なお、CD・DVD・ビデオは破損の恐れがありますので、ポストへの投函はご遠慮ください。

カレーライスの日

1月22日は「カレーライスの日」。昭和57年（1982）のこの日、学校給食創立35周年を記念して学校給食試食会を実施。全国の小中学校の児童約800万人にカレーライスの給食が出されたこの日を「全国一斉献立カレーライスの日」としました。

今や国民食として不動の地位を築いたカレー。お正月には、おせちもいいけどカレーもね！

- 『カレーライスを一から作る 関野吉晴ゼミ』前田 亜紀/著　ポプラ社 K 610 マ
- 『プロが教える！おうちでカレー！！』　日本文芸社/編　日本文芸社　596 フ
- 『一年中楽しむ野菜のカレー』 平山 由香/著　同朋舎　596.3 ヒ
- 『天晴れカレーパン』石坂 浩二/著　主婦の友社　596 イ
- 『くわえ煙草とカレーライス』片岡 義男/著　河出書房新社 913.6 カ

新　着　図　書

『気になる仏教語辞典』

麻田 弘潤／著　誠文堂新光社　180.4 ア

九割が仏教徒と言われる日本人。でも仏教ってよく分からない……という方も多いのではないでしょうか。お坊さんって普段は何をしているの？　宗派があるのは知っているけれど、具体的に何が違うの？仏教用語って難しい、お寺に行くのはちょっと敷居が高い……そんなイメージですよね。

本書では、仏教にまつわる様々な用語を現役のお坊さんが可愛らしいイラストとわかりやすい言葉で解説しています。仏教のはじまりやお坊さんの一日、名僧との対談からお坊さんお勧めの京都ガイドまで内容盛りだくさん。仏教に対するハードルを下げてくれる一冊です。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

『またここか』坂元裕二/著 ←ガソリンスタンドを舞台にした男女４人の会話劇。今秋上演した舞台の脚本。

『働く女性に贈る２７通の手紙』小手鞠るい・望月衿子/著 ←女性が働き続ける事について語り合った書簡。

『夢の猫本屋ができるまで』井上理津子/著 ←店員も猫、置く本も猫。「猫本屋」はいかにしてできたのか？

『おいしい料理は、すべて旅から教わった』荻野恭子/著 ←読んで味わう食エッセイ。世界のレシピも掲載。

『雑賀の女鉄砲撃ち』佐藤恵秋/著 ←秀吉が最も恐れた狙撃手、蛍。鉄砲に魅せられた女を描いた時代小説。

『となりの達人の段取り術』日経産業新聞/編 ビジネス現場で生まれた仕事の進め方のコツや段取りを紹介。

『うめ婆行状記』宇江佐真理/著 ←夫を亡くしたうめは独り暮らしを楽しもうとするが……？長編時代小説。

『おいしい雑草』平谷けいこ・赤間博斗/著 ←食べれらる雑草を季節ごとに紹介した、雑草の図鑑＆料理本。

『永善堂病院もの忘れ外来』佐野香織/著 ←もの忘れ外来で働くことになった美奈が目にした患者の姿とは。

『家事代行のプロが教えるかしこいそうじ術』CaSy/著 ←家事代行サービスの超効率的テクニックを紹介。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。
スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！　キーワードは「津島市立図書館」。
http://www.lib.tsushima.aichi.jp/

休館日

整理休館日　２２日（火）

年始休み

１月１日（火）～３日（木）

津島市立図書館
〒496-0854　津島市老松町１－１
電話（0567）25-2145